

もくじ

- ・ マッチ^う売りの^{しょうじょ}少女

マッチ^う売りの^{しょうじょ}少女

げんさく
原作： アンデルセン^{どうわ}童話

イラスト： kotokoto

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

3

きょう 今日^{きょう}はクリスマス・イブ。あさ 朝^{あさ}からふ 降^ふりつづ 続^{つづ}くゆき 雪^{ゆき}は、
ゆうがた 夕方^{ゆうがた}になっても、や 止^やむけはい 気配^{けはい}を見せません。

プレゼントのつづ 包^{つづ}みをかか 抱^{かか}えて、かえ 帰^{かえ}りをいそ 急^{いそ}ぐひとひと 人々^{ひとひと}の中に、
ひとり 一人^{ひとり}のしょうじょ 少女^{しょうじょ}がいました。

しょうじょ 少女^{しょうじょ}は、おお 大^{おお}きなふくろ 袋^{ふくろ}をかか 抱^{かか}えながら、とぼとぼと
ある 歩^{ある}いていました。ぼうし 帽^{ぼうし}子^しもてぶくろ 手袋^{てぶくろ}もつけず、さむ 寒^{さむ}さでふる 震^{ふる}えて
いました。

「マッチはいりませんか。だれか、マッチを^か買って
ください・・・」

しょうじょ 少女^{しょうじょ}は、みちゆ 道^{みち}行くひと 人^{ひと}にこえ 声^{こえ}をかけつづ 続^{つづ}けました。



5

よ ぶ みち ゆ ひと すく
夜も更けて、道行く人も少なくなってきました。

ふとまち ある しょうじょ め いえ まど
ふと町を歩く少女の目に、とある家の窓からもれる
あ かりが と こ
明かりが飛び込んできました。

いえ なか まわ かぞく あつ
家の中では、テーブルの周りに家族が集まり、
たの しょうじょ や た
楽しそうに食事をしていました。焼き立ての
ローストチキンの、おい にお
美味しくそうな匂いがしてきました。

「ああ・・・おなかすいたなあ・・・」

しょうじょ ようす
少女は、しばらくその様子をながめていました
が、やがてまた ある はじ
あるはじ歩き始めました。

